



朝倉 弘美さん
=改断=

町内で子どもたちにピアノを教えたり、公民館で大人のリトミック活動を行ったりしています。音楽に親しむことは脳が元気になり、生きがいに繋がります。町内で全ての年代の人達が気軽に集まり音楽の輪を通じて交流できるサロンなどが広がり、明るく楽しい金ケ崎町にしてほしいです。



立花 勢智子さん
=一の台=

いつまでも自分のことは自分でできるように健脚講座に参加しています。コロナ禍を経て地域の運動会などイベントも減り、世代間の交流が少なくなってきたと感じています。高齢者が地域で孤立することなく、元気で生き生きと暮らせる町づくりをお願いします。



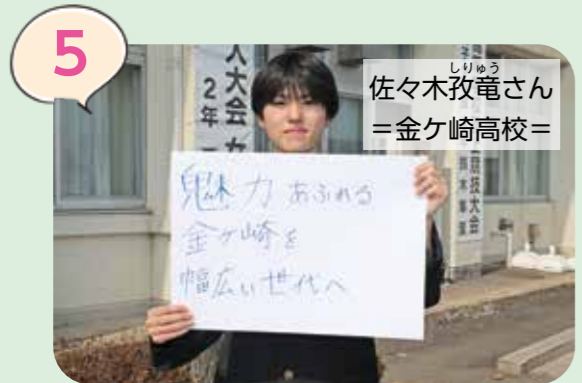
高橋 康さん
=細野=

町内で農業をしています。金ケ崎町は水稲や園芸、畜産、花きなど様々な農業で活動している人がいますが、後継者不足は深刻な問題です。農業は地域の特性を生かし、特産品や地域の環境を守り続けてきた先人たちの知恵の結晶です。今後も持続可能な農業を続けていけるまちづくりをお願いします。



酒井 芽衣さん
=一の台=

子育て支援課やママ友達、地域の人達のおかげで孤独を感じずに子育てができています。町内に保育施設はありますが、老朽化や駐車場不足の問題もでているので、大切な子どもはもちろん保護者にも安全な配慮があると嬉しいです。子育てをするなら金ケ崎と言われる町にしてほしいです。



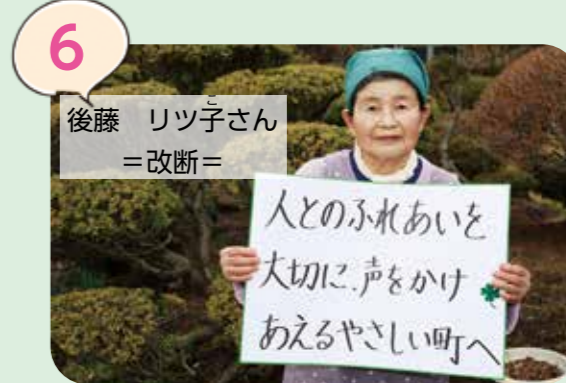
佐々木 孜竜さん
=金ケ崎高校=

金ケ崎町は歴史的な文化財など、多くの魅力にあふれている町なので、若い世代にも伝わるようにSNSを活用して紹介発信してほしいです。地域活動を通じて、人々の温かい気持ちに触れる機会も増えました。人も場所も全てに魅力があふれる金ケ崎町をもっともっと広めて行ってほしいです。

The wishes of the people of Kanegasaki

町内の皆さんにインタビュー

高橋町長に期待していること、取り組んでほしいことを聞いてみました。



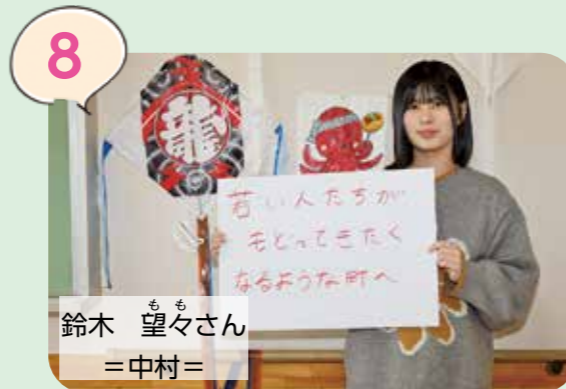
後藤 リツ子さん
=改断=

地域や職場で積極的に挨拶や声かけを行っています。声をかけ合うことは他人を思い合い、ふれあいの輪をうみます。地域や職場、学校などでも交流が少なくなっているなか、1人1人が挨拶や声掛けを行い、他人を労わりやさしい気持ちを持つ人が多くなるまちづくりをお願いします。



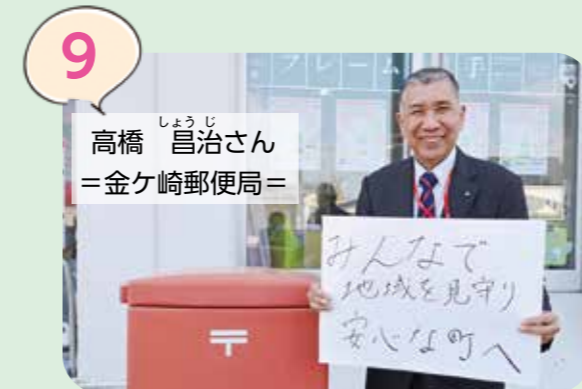
高橋 徳行さん
=下百岡=

町内の介護事業所で勤務しています。介護はこれまで尽力してきた人々の尊厳を守り、想いや感謝を伝える大切な役割だと思っています。介護事業は人材が不足しており、行政を交えて介護人材の発掘や育成できる仕組みづくりを考え、介護に携わる人が安心して過ごせるまちづくりをお願いします。



鈴木 望々さん
=中村=

地元の学校を卒業して就職します。進路を考えたときに進学や就職で、仙台や関東圏に出ていく友達も多いです。一度地元を離れた人がUターンで金ケ崎に戻り、就職できるような環境や商業施設などがあればいいなと思います。若い人たちの選択肢が増えるような町づくりをお願いします。



高橋 昌治さん
=金ケ崎郵便局=

町と郵便局で地域包括協定を結び、道路損傷の報告や地域の見守り活動を行っています。行政と企業が一体となって地域を見守りを行うことは、それぞれの強みを活かして、地域の防犯や孤立を防ぐことに繋がると思います。安心して暮らしていけるまちづくりをお願いします。

たくさんのご意見
ありがとうございました！